

Amir Tsarfati 氏 2018年 5月 10日公開
中東に平和はあるのか？

(日本時間 2018年5月11日午前3時～)

.....

皆さん、シャローム。こんばんは。アミール・ツアルファティです。エルサレムは今、5月10日木曜日の夜です。こちらは既に夜ですが、アメリカではまだ昼間、ヨーロッパは夜、アジアは真夜中ですね。まずはお祈りをして、その後、非常に興味深い情報をお伝えしていきたいと思います。

お父様、ありがとうございます。イスラエルを守るあなたは、まどろむことも、眠ることも決してありません。イスラエルに触れる者は、確かにあなたの瞳に触れています。そして、この24時間の間にあなたは、あなたが真実であられることを示されました。あなたは、あなたの民を故国に戻しただけでなく、彼らがこの故国にいる間も、あなたが彼らを保護されました。

ですからお父様。あなたに感謝します。私たちはこれを自分達の力だとは思いません。これは神の力であり、アメリカにあの大統領がいるということは、物凄い奇跡です。彼は、私たちの首相とも、また世界の指導者たちとも良好な関係を築いています。そして、これほどの大きく強い敵たちが、あなたの国、あなたの民、あなたがかくまわれる者たちを、必死になって滅ぼそうとしている様子もまた、奇跡だと思います。そして、あなたはそれを許さず、今一度、あなたが、あなたの約束に対して真実であられるのを、私たちは目にしています。主よ。あなたに感謝し、あなたを祝福します。今夜、このメッセージの中で、私たちが行なうこと、私たちの発言、全てが、あなたの御名に栄光を帰すものとなりますように。

お父様。エルサレムより、そして世界中より、あなたに感謝し、あなたを祝福します。
イエスの御名によって。アーメン。

アーメン！

私は本当にワクワクしています。

イスラエル人として、ユダヤ人として、クリスチャンとして、軍に属する者として、イスラエルでツアーを引率している者として、この数日間の私の大興奮が、皆さんにも伝わればどんなに良いかと思います。

私たちがここにいる間、肌で感じている平安、安全、安心、静寂のレベルがどれほどであるかを説明するのも難しいですが、現在私が引率している90人の人々は、恐れていないだけでなく、ここの状況に関して、世界中がパニックに陥っている様子を見て笑っています。昨夜の出来事が起こっている最中、ここにいた人たちは皆眠っていて、誰も、何があったか知りませんでした。だから今朝になって、私が、起こった事についてお伝えしたのです。イスラエル人の99%は眠っていました。

まずは、舞台裏で起こったいくつかの事を、皆さんが理解されるために、この24時間以内に起こった事の詳細をお伝えします。

それから、次の質問にお答えしようと思います。

「中東に平和は訪れるのか？」

もし訪れるなら、それは

「いつ、どのようにして、どれぐらいの期間、誰がもたらし、その結末はどうなるのか？」

まずは短くアップデートを行なってから、その後、それについてお伝えします。ただ、皆さん、どうか次のことを理解しておいてください。

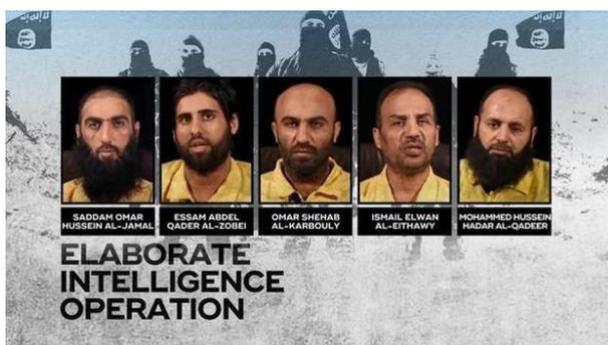
アメリカのシリア入りに関して、トランプ大統領の大きな目的の一つは、イランが地位を確立するのを止める事ではありません。イランの地位確立は、イスラエルの問題です。もちろん、我々はそれをトランプ大統領に伝えてはいます。しかし、トランプ大統領は初日から、

「我々のシリアでの仕事は、ISISを滅ぼすことだ。」

と言っています。

「ISISを滅ぼせば、我々がすることは特にはない。」と。

さて、今日起こったもう一つの出来事は、アメリカがISISのトップ5人を捕まえました。皆さんがご存知であるかどうかわかりませんが、ISISのリーダーを補佐していた人物が、2か月半前に既にトルコで捕まっていた、彼の携帯電話を使って、テレグラムというアプリから他の4人の指導者たちをシリアにおびき寄せるため、彼らにメッセージが送られました。そして、彼らはシリアに入った瞬間に逮捕されました。アメリカは、世界中のあらゆるリベラルなマスコミの予測に反して、またしても外政で大成功を収めました。



逮捕された5人のISISリーダー



この件についてのトランプ大統領のツイッター

トランプ大統領は正しい事を、正しい方法で、正しい人たちとともにこなっていて、ここイスラエルでは、非常に強靱で弾力のある人物に対して、ただ賞賛があるのみです。彼は、世の意見によって良心が揺らぐことがなく、その事に、私たちは非常に感動しています。正直言えば、私は、牧師たちや仲の良い友人たちにずっと言ってきた事です、もしレーガンが、アメリカのクリスチャンたちにとって最高の出来事だったと思うなら、この一年半で、トランプはレーガンをはるかに上回りました。アメリカ経済は見事です。事実、仕事の数が人手を上回っていて、学生たちの中には、早々に大学を出て、仕事に就かなければならないほどです。本当に信じがたい事が起こっているのです。さらには、アメリカは、間もなく全世界でトップ石油輸出国となります。皆さん、理解しておいてください。アメリカはイスラエルから何かを得ようとして、イスラエルを支援しているのではありません。アメリカ合衆国の大統領は、イスラエルが彼らを助けている側であり、彼らを倒すのではなく、成功させる存在であることを確信しているのです。我々は、トランプ大統領が決断し、彼の意見をまとめるために、正確な情報を提供しています。ヨーロッパやロシア、その他、誰も彼に与えたことのない情報です。さらに我々は、全てのアメリカ大統領が必要とする、ここ中東での安定を、彼に提供しています。そして我々は、中東にこれほどまでの不安定をもたらしている要因が何であるかを、全世界に対して真正面から伝えていきます。

皆さんの中には、私がトランプ大統領の大ファンだと思っている人もいますが、私はアメリカ人でもありませんし、共和党でもありません。私は彼に投票していませんし、彼に投票することで私の給料に恩恵を受けるわけでもありません。この仕事も職業も、彼から得ているわけでもありません。私が見ているのは、ただ家族の価値、それと、まだ生まれていない命を殺さず守ることの大切さ、そしてもちろん、イスラエルの側に立つことの価値を取り戻した人物です。この3つは、まさに前政権が踏みにじり、破壊したものであり、それによってアメリカを非常に悪い状況にしたのです。私が思うに、神は、アメリカ国内と世界中の何百万人というクリスチャンたちの祈りに答えてくださったのです。そして、アメリカが消滅する寸前に、神がトランプ大統領をあたえてくださったのです。彼がこれまで行なった事は、他の誰にも出来ない事だと、私は心底思います。彼が行なっている事を行うには、彼のように政治家ではない者でなければできない事です。これほどの圧力に立ち向かい、物凄い弾力性をもって前進していて、信じられないことです。

ということで、ISISは苦しんでいます。

金正恩は、拘留していた3人のアメリカ人を解放しました。



北朝鮮に拘留されていた3人のアメリカ人

彼に一銭も払うことなく、これを行なったのです。皆さん、思い出してください。バラク・オバマは、捕虜を解放させるのに、テロリストをグアンタナモ湾から解放するか、もしくは何億ドルという現金と交換しなければならなかったのです。ですから、こちらが強く、真剣であれば、敵も真剣に受け止め、こちらを恐れ尊重し、こちらの国民を解放する見返りは何も要求しません。6月12日にシンガポールで、ドナルド・トランプと金正恩との首脳会談が行われるそうですが、それは今は横に置いておいて、二日前の晩に話を戻したいと思います。

覚えていらっしゃるでしょうか？トランプ大統領がイラン協議からのアメリカ撤退を発表し、恐らく、その30～40分後にイスラエルは、シリア側からイスラエルに向けて発射準備が整えられていた、イランのロケット発射台を攻撃しました。我々はロケット庫を破壊し、発射するロケットを運搬途中だった輸送車隊を破壊しました。皆さんをご存知ないかも知れませんが、死者の中にイラン人将軍がいました。彼はシリアの病院に運ばれ、その職員は全員携帯電話を提出するように言われました。それを使って、彼の写真を撮ったり、報道しないためです。当然、それによってイランはさらに激怒しました。彼らは、我々が今年2月10日に行なった事に対して復讐出来なかつただけでなく、今度は現地にいた彼らの将軍のトップが死亡したからです。そしてイランは、アサドにもロシアにも、周辺の誰にも相談することなく、決断しました。

彼らは自分たちのミサイル庫から、短距離ミサイルをいくつか持ち出しました。これはピックアップトラックの荷台から発射出来るものです。深夜0時を10分すぎた頃、彼らは20～40発の短距離ミサイルで集中砲火を放ちました。彼らは、イスラエルの反応を非常に恐れたため、発射しながら逃げたのです。ですから、ミサイルのほとんどは国境を越える事すらなく、イスラエルに届くこともなく、たった4発のミサイルだけが、イスラエルにとって何らかの脅威となったため、我々はそれを撃墜しました。集中砲火全体で、イランのロケットは一発もイスラエルの領土には落下しませんでした。なんという奇跡でしょうか！イスラエルはこの機会を待っていました。我々は、彼らに学ばせる機会を待っていたのです。イランがどんな事でも、どこでも、イスラエルの主権を犯すことをした場合、非常に大規模な軍事行為を行う計画が、我々の方には既にありました。そして、集中砲火の二時間後、イスラエルは1974年以来最大の空爆をシリア国内で行いました。一時間半の内に、イスラエルは戦闘機F-15、F-16を28機使って、50の標的をその場で破壊しました。そのうちの40以上が、純然たる100%イランのものでした。また、シリアが我々に耳を傾けず、イスラエルの戦闘機に向けて防空システムを発射し始めたため、我々はシリア軍の防空システムを5つ破壊しました。

皆さん、イスラエルがしようとしていることを、もしイランが知っていたなら、彼らは決して、こんな愚かな、——何と言って良いのかも分かりませんが、無意味な集中砲火をしなかつたでしょう。何にも当らず、何もせず、それでいて彼らに多大なダメージを与えました。このラウンドは、勝利ではなく、ノックアウトでした。

面白い事に、アメリカが直ちに我々の側に立ち、その後、我々はこれを行なうことをロシアにも報告していて、ロシアもこれを許可していたことを知り、イランはショックを受けました。ドイツもフランスも「イスラエルには自衛する権利がある」と言いました。それから皆さん、信じがたいかも知れませんが、スンニ派イスラム国家であるバーレーンが

「イスラエルも含めて、すべての国には自衛権がある」と言ったのです。

イランは物凄く孤立していて、アラブ界も、ヨーロッパも、アメリカも、ヴラディミール・プーチンでさえ、彼らの味方ではありません。プーチンは昨日、ベニヤミン・ネタニヤフを招いて、ナチス・ドイツに勝利したことを祝う、ロシア国内で最も重要な式典に彼を招待し、世界中の指導者たちが受け得る栄誉の中で、最高のものを彼に与えたのです。



軍事パレードに出席するプーチン大統領（中央）とネタニヤフ首相（右端）

皆さん、プーチン大統領は一つの事を理解しています。

「バッシャル・アサドが倒されては困る。」

「イランが中東を不安定にし、それによって政権が崩壊するようなことは、私が許さない。」

「私にとっては、ISISの暴徒や、他の反乱軍がリビアや他のところで行なったように、シリアを乗っ取るより、弱いアサドが宮殿にいる方が良いのだ。」

プーチン大統領は、中東、特にシリアにおける彼の利益、石油とガス、それから、彼の戦艦のために必要な温水港は簡単に手放せないことを理解しています。

という、皆さんの中にはこう思う人がいるでしょう。

「ちょっと待って、アミールさん。ロシアはイスラエルの友ではない、ロシアはイスラエルを攻撃する、とずっと言ってませんでしたか？」

皆さん、全ての事には時と季節があって、今の時点ではイスラエルがロシアの友であることが、ロシアの利益になるのです。ロシアも、イランが地位を確立するのが邪魔なのです。この3年間でイランは、4000人のイラン人司令官を持ち込み、レバノンからはヒズボラのメンバーを8000人、パキスタン、アフガニスタン、イラクで採用した民兵が4万人、そして彼らがシリア国内で採用した地元の民兵が4万人。これは、ロシアにさえ脅威となる、巨大軍隊です。

それから、皆さん理解しておいてください。

今の時点で、ロシアにとってはイランとの取引よりも、イランがああ地域を不安定にしない事の方が、よっぽど重要なのです。イランとの取引は、イラン国内でイランと行ないます。しかし、シリア国内にいるイランの軍隊は、ロシアにとって問題なのです。

皆さんは恐らく理解しておられないでしょうが、イランはイスラエルから1500マイル（2400 km）離れています。しかし、それが今や彼らは、全軍隊、全司令官たち、全部隊をシリアまで前進させているのです。言い換えれば、彼らは全てをイスラエルから1マイルの場所に持ってきたのです。ですから基本的には、イランがイラン国内にいる限り、誰も何も問題がないのです。ロシアも、それなら何も問題がありません。それが、イラ

ン人がイランにおらず、シリアにいるから皆が迷惑するのです。イスラエルだけではありませんよ。ですからネタニヤフは、プーチンと非常に意義ある会話をし、そして彼は、イスラエルに戻って来た時、議会と軍の指導者たちに次のように言いました。

「もしイランが、我々の主権を犯すなら、我々に必要な事は何でも行うことで、ロシアの許可を得た。」
我々は昨夜、間もなく攻撃することをロシアに報告しました。そしてロシアは、我々がそれを行う事を許可したのです。皆さん、理解しておいてください。ロシアはシリア国内にかなり大きな軍を持ち込んでいます。そして現在、イスラエルが何より避けたいことは、ロシアとの衝突です。

ということで、皆さん、今日のイランは昨日よりはるかに屈辱を受け、弱っています。アル・クドゥス特殊部隊の指導者、ガーセム・ソレイマーニー将軍は——アル・クドゥスは、イスラエル破滅に専心している旅団です。アル・クドゥスとは、エルサレムという意味で、彼らはイスラエル破滅に専心し、エルサレムをムスリムの町、世界中のムスリム諸国の首都として取り戻そうとしているのです。皆さん、理解しなければなりません。コーランのスーラ9章を読まない限り、イラン人たちが行なっている事の裏にあるコンセプトを理解することは出来ません。皆が彼らをなだめようとし、彼らの行動の理由を論じますが、皆、理解していません。彼らの動機は、お金とは一切関係なく、石油やガスとも一切関係がなく、政治でもありません。彼らは、イスラエルが建ち、ユダヤ人がイスラエルの地にまだ生きている限り、政治的な調整は一切受け入れません。中東で起きているのは、霊的戦いであり、宗教的対立なのです。そして、それを初めに察知したのはトランプ大統領で、彼は協議の全てが無意味であることに気付きました。彼らの企画が「ジハード（聖戦）」では、誰も話にならず、何も話が出来ませんから。彼らは真っ向から嘘をつくため、彼らと話し合いは出来ません。そして彼らの計画は、あなたを滅ぼすことなのです。しかもそれは、宗教的計画です。金正恩とは違います。ちなみに、彼が求めているのは、ただお金です。ところで、トランプ大統領は彼に何も与えていませんよ？彼に与えたのは、ただ生きる時間だけです。

「さもなくば、あなたに石器時代をもたらそう。」

と。彼は、一銭もお金を得てはいません。自分で投資をすとか、何か取引をしたいのなら、それは構わないのです。ただ、ここで起きているのは、全く状況が違います。

ところでトランプ大統領は、自分が中東に平和をもたらさない事を理解しています。先月、彼がシリアを攻撃した直後の、彼の演説の行間を読めば、——トランプ大統領は全世界に向かって次のように述べました。

「いくらアメリカのお金や、アメリカ人の血を注いでも、中東に平和をもたらすことは決して出来ない。我々には、それは出来ないのだ。それをしたい者が行なえば良い。我々が彼らのために、それを行なう事は出来ない。」

現在彼は、北朝鮮のようなアメリカの存在を脅かす、他の闘争を終わらせることに全力を注いでいます。彼がノーベル平和賞にふさわしいことは、疑う余地もありません。それから6月12日に、シンガポールで行われる首脳会談は、朝鮮半島の対立を終わらせるための首脳会談です。これは、私たちにとっても良い事です。北朝鮮が継続して、イランや我々の敵と連携するのは避けたいですから。2007年にイスラエルが破壊した、シリア国内の核原子炉は、北朝鮮が建てたことを忘れてはいけません。ですから、北朝鮮の対立を終わらせるのは、素晴らしい事なのです。しかし、トランプ大統領は、イスラエルに何も強要しないことを知っておいてください。彼がエルサレムをイスラエルの首都であると認識し、大使館を移転させるという事実だけでも、——長年の間、アメリカの大統領たちはそれを避けて来たのです。それは、彼らの将来の協議の中には、エル

サレムをイスラエルとパレスチナで分断することが含まれているのを、彼らが知っていたからです。ですから彼らは、一方的な行動をとって、片側だけを喜ばすようなことをしなかったのです。エルサレムは、交渉のために取っておかれました。そこへ、トランプ大統領が来て、言ったのです。

「申し訳ないが、あなたがたは頭がどうかしている。ここは、この70年間イスラエルの首都だったのだ。そこには、首相事務所があり、議会があり、最高裁があり、政府全体がある。そこが彼らの首都である。そして、どこを首都にするのかを決めるのは、彼らの権利だ。

アメリカの首都をどこにするか決めるのは、アメリカ人であり、他の誰でもない。

フランスの首都をどこにするか決めるのは、フランス人であり、他の誰でもない。

そして、イスラエル人がそこを首都だというのなら、そこが首都であり、我々はそれを認識し、それを尊重し、我々は、我々の大使館をそこに移転しなければならない。

ちなみに、イスラエルが彼らの首都を分断して、誰か他の者に与えたいなら、それで構わない。我々はそれを止めない。ただ、それは当事者間の問題であって、我々がそれを課す事は出来ない。」

トランプ大統領は、当事者間のギャップが非常に大きい事を理解しています。そして、イスラエルとパレスチナの間で何かを修復する前に、新しい作戦に出たのです。まずは、イスラエルと他のムスリム界の間の不和を修復しよう、と。

バーレーンは今や、

「イスラエルには自衛する権利がある」

と言います。サウジアラビアは、核協議撤退というドナルド・トランプ大統領の決断を賞賛しています。サウジアラビアは、協議に賛成票を投じたにもかかわらずです！彼らは、イランが爆弾に達する事を止められるなら、どんな事でもしようとしたのです。彼らは常に、ネタニヤフが、何らかの形でアメリカの政権にそれを取り消すか、そこに撤退するように説得することを願って来て、まさにそれが起こったのです。この70年間で初めて、サウジアラビアの王と、イスラエルのベニヤミン・ネタニヤフ首相が同じ側に立ったのです。ところで、これはまさにエゼキエル38章が伝えている事です。シェバ・デダンは、イスラエルを攻撃する側でなく、イスラエル攻撃を批判する側にいるのです。物凄く興味深い事です。



ペルシャ湾岸諸国の地図

ということで、現在は、イスラエルとサウジアラビア、バーレーン、アラブ首長国連邦（UAE）やクウェート等、他の所と繋げて地域の和平が出来れば、何らかの形でパレスチナにも同じようにさせられるかもしれない、とトランプ大統領が理解するに至っています。

しかし彼は、エルサレムを分断しません。

彼は、イスラエルに何も課しません。

これは上手く行かない事を、彼は理解しているのです。

だから彼は、中東で唯一安定しているイスラエルを防衛する事、それと朝鮮半島を修復することに全力を注いでいるのです。そしてその間に、アメリカを再び偉大にしています。

皆さん、理解しておいてください。

昨夜起こった事は、我々とイランとの間の、ただのもう1ラウンドです。イランは弱っています。

皆さん、思い出してください。当時私はまだ生まれていませんし、皆さんの多くもそうだと思いますが、1967年、エジプトの指導者ガマル・アブドゥル＝ナセルは戦略的大失敗を犯しました。彼には、非常に大きく強い空軍があったのです。しかし、イスラエルの戦闘機は、飛行距離に非常に限界があって、そこまで精巧ではありませんでした。そこへナセルが行なったことは、彼のすべての空軍をシナイ半島に持ち込んだのです。それによって、彼は自分の戦闘機の全てを、イスラエルの戦闘機の飛行距離内に置いたのです。それで我々は、1967年6月5日、30分以内に、彼の戦闘機を全て破壊する事が出来たのです。

そしてイランは、全く同じ間違いを犯しているのです！彼らは全ての空挺、全ての司令官たち、全ての装備を、我々の目と鼻のすぐ先、シリアに持ち込んでいるのです！シリアで起こっていることに関して、イスラエルが完全に支配しているのです。我々はこの40年間、全ての発射台、全ての飛行機、全ての兵士たちの動きを把握しています。だから我々には平和があって、シリアは穏やかだったのです。我々が全てを知っている事を、シリアは知っていましたから。そこへイランがやって来て、——今の状況を見てください。イラン人たちは、分かっていないのです。シリア国内でのイスラエル諜報のレベルは、見事です。我々は、彼らの動きの一つ一つを探知しているだけでなく、前もって彼らに警告します。

「動くな。お前たちが何をしようとしているか、我々は知っている。」

そして彼らが動くとき、我々は直ちにそれを破壊します。

言ってしまうと、昨夜、我々は彼らの空挺を破壊してあちらに入り、然るべき事を行なうことも出来ました。ということで、イランはエジプトが以前犯したのと同じ間違いを犯しているのです。

私が強く信じているのは、今の時点でプーチンは、アサドに権力を握らせておくために、イスラエルがイランの地位確立を止めることを望んでいて、イスラエルがアサドとイランを分け、「我々の問題はイランであって、アサドではない」と言っている限り、ロシアは我々の味方です。しかし、アサドが倒された瞬間、ロシアは我々に攻めて来ます。

だから私はいつも言っているのです。

ダマスカスの破滅を告げるイザヤ書17章が、エゼキエル38、39章に点火するマッチとなる。なぜかと言えば、ダマスカスの唯一の政権がなくなれば、ロシアは、イスラエルがその対価を払うべきだ、と感じます。そしてもちろん、イランに彼らが加わり、トルコも加わり、リビアもスーダンも加わり、エゼキエル38、39章が起こります。しかし今のところ、アサドとイランが分けられている限りは、我々が然るべきことを行なっても、ロシアは構わないのです。

もしイランが何か愚かな事をして、イスラエルがアサドを倒す羽目になった時、彼らが、アサドに彼らの手助けをさせる等した時、その時には流れが変わります。その時に、言っておきますが、皆さん、ゴグとマゴグの

戦いが始まりますよ。

ということで、状況は理解出来たと思います。

イスラエルは通常任務、日常に戻り、ベニヤミン・ネタニヤフは一時間前に

「もし我々を攻撃する者があれば、我々は10倍にして攻撃し返す。もし我々を攻撃しようと考えている者があれば、我々がその前に攻撃する。」

と述べました。基本的には、彼の言っているのはこういう事です。

イランとシリアに対して、

「我々を攻撃しようなどと考えるな。考えれば、後悔することになる。」

それからまた、彼はこうも言っています。

「攻撃の準備すらするな。それが起こる前に、我々が予防する。」

皆さん、イランに対処するのなら、一切容赦しない事。それが全てです。

皆さん、理解しておいてください。

世界の指導者たちは、常に平和について語っていますが、中東では、私が見る限り——聖書の約95%は、イスラエルでの出来事か、イスラエルの民に関する事です。ですから、聖書が平和について語る時、この地域の平和について聖書が語る時、——聖書は、北朝鮮やあちらの半島については語っていません。世界中で起こっている事は、最終的には、ここ中東で起こっていることに影響されるのです。ここで起こっている事の周りに、いつも世界情勢の頂点があるのです。それから皆さんに言っておきたいのは、今からエゼキエル13章8～11節をお読みします。聖書には、こうあります。

8 それゆえ、神である主はこう仰せられる。あなたがたは、むなしいことを語り、まやかしの幻を見ている。それゆえ今、わたしはあなたがたに立ち向かう。

——神である主の御告げ——

9 わたしは、むなしい幻を見、まやかしの占いをしている預言者どもに手を下す。彼らはわたしの民の交わりに加えられず、イスラエルの家の籍にも入れられない。イスラエルの地にも入ることができない。このとき、あなたがたは、わたしが神、主であることを知ろう。

10 実に、彼らは、平安がないのに、『平安』と言って、わたしの民を惑わし、壁を建てると、すぐ、それをしっくいの上塗りしてしまう。

11 しっくいの上塗りする者どもに言え。『それは、すぐはげ落ちる。』…

(エゼキエル13:8～11a)

皆さん、主は全員に言うておられます。

「平和がない時に、偽の平和を預言するな。」

預言者エレミヤさえ、言いました。

14 彼らは、わたしの民の傷を手軽にいやし、平安がないのに、『平安だ、平安だ』と言っている。

(エレミヤ6:14)

平和はありません。

もちろん、ヘブル人への手紙 12 章 14 節で、聖書は

14 すべての人との平和を追い求め、また、聖められることを追い求めなさい。聖くなければ、だれも主を見ることができません。

(ヘブル 12:14)

とあります。信者である私たちは、いつでも人との平和を追い求めなければなりません。しかし、イスラエルは敵に取り囲まれている国です。そして敵は、宗教の空論を使って来ます。彼らにとっては、イスラエルが建っているということは、彼らの経典が間違っていることになり、そのような考えは、信じられない事なのです。だから、イスラエルの存在が彼らにとっては問題であり、したがって、彼らが我々に向かって、何かを仕掛けようとする日はないのです。だから聖書は

4 見よ。イスラエルを守る方は、まどろむこともなく、眠ることもない。

(詩篇 121:4)

と告げているのです。

皆さんの多くにとって、これは陳腐な言い方かも知れません。

皆さんの多くにとって、これはただのスローガンかも知れません。

しかし私にとって、これは日々、現実です。

我々は、非常に多くの敵に囲まれているのです。

南には、ハマスとイスラム聖戦派がいます。

東には ISIS、北にはヒズボラ、イランがそこら中にいます。

彼らは、我々の友ではありませんよ。

ただ、興味深いのは、この 70 年の間に多くの事が起こりましたが、敵の第一の層は、もはや存在しません。

シリア自体は、もうありません。

ヨルダン、エジプトと、イスラエルの間には平和があります。

サウジとバーレーンは、今やイスラエルの友です。

物事は、昔とは違うのです。

皆さん、次はもちろんエゼキエル戦争です。

だから中東では、戦争が次に迫っているのであって、平和ではありません。

だから私は、朝鮮半島に平和をもたらすことに全力を注ごう、と考えたトランプは、非常に賢明だと思うのです。

何故なら中東では、それをさせない要因がそこら中にありますから。

そこで皆さんに知っておいてほしいのは、我々が平和に暮らしている限り、我々にとっては、毎日が勝利なのです。皆さん、理解しておいてください。イスラエルは何もせず一日中他者を批判しているのではありません。イスラエルは実を結び、飛躍しています。イスラエル経済は飛躍しています。

考えてみてください。

これほどイランの脅威を受ければ、イスラエルのシェケルは崩壊すると皆さんは思うでしょう。ところが現在、西半球最強の通貨です。イランのリヤドが崩壊しています。

我々は今朝、学校に行き、仕事に行ったのです。

我々は隠れたり、震えたりはしません。

我々にとっては、これしかないのです。彼らが我々を嫌うなら、我々は前に進みます。

ところで、私たちがこうして話している間にも、イランの大統領は言っています。

「イランは、エスカレートさせたくないのだ。」

誰かさんが、気付いたようです。

ただ、皆さんにお伝えしたいのは、戦争はそこまで迫って来ています。

もちろん、それはエゼキエル戦争です。そして、その戦争が起こると、次にこの地域に平和がもたらされます。だから私は、トランプが偽の平和をもたらす、とは見ていません。彼は、平和をもたらしませんから。しかし私は、やがて中東に偽の平和をもたらす人物を、ヨーロッパが生み出す、と見ています。

ロシアが敗北し、トルコ、イラン、リビアとスーダンが敗北し、基本的には、その過程でイスラムも敗北します。そうすれば、ヨーロッパが表舞台に躍り出て、中東に平和をもたらします。反キリストは、復活したローマ帝国から興る、と私は信じています。トルコの指導者が反キリストだという人がいますが、そんなものはありません。トルコの大統領はここ何年もの間で、最大の反ユダヤ主義者です。

メシア、“反キリスト”となる人物は、ユダヤ人からメシアとして見なされなければなりません。イスラエルにとっては、イスラエル人が彼を愛し、賞賛し、彼を求める者です。それは、エルドアンではありません。それはトルコが敗北してから、確実に平和をもたらす人物です。それは、ドイツかフランスかどこか、復興したローマ帝国の地域から興る人物である、と私は信じています。そして、彼が平和をもたらす、と私は信じています。それから私は、皆が戦争に疲れ切って、その和平協議を支持するのだと思っています。しかしその和平協議は非常にイスラエル寄り、そのためイスラエル人たちに、それが欲しいと思わせるのだと思います。なぜかと言えば、ダニエル書9章によれば、ここでもたらされる平和は、彼らが今一度神殿の丘に、神殿を建てる事を認めるのですから。

ユダヤ人が、神殿の丘に神殿を建てられる可能性が、今ありますか？

いいえ。第三次世界大戦が始まりますよ。

それから、いったん、反キリストの霊が来て、

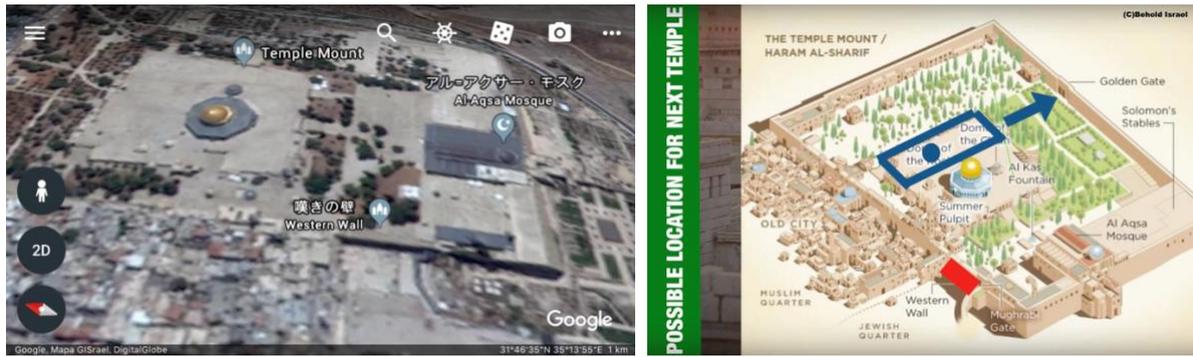
「皆、神に繋がっているんだ」

「互いに認め合おう。皆で手を繋いで、世界中のどこにいても一緒に歌おう！」

と、これが起これば、きっと岩のドームは何らかの敗北した宗教のモニュメントとしてまだ建ったままでしょうが、ユダヤ人のための神殿が建ちます。ドームの北側に空き地があって、それが現在の東門と完璧に並ぶのです。その平和が訪れます。非常に限られた平和です。なぜなら、いったん神殿が整い、ユダヤ人たちが大興奮すると、その時、反キリストが言うのです。

「申し訳ないが、この神殿であがめられる神は、私だ。」

覚えていますか？ユダヤ人たちが、イエスを拒絶した理由は、彼がメシアだったからではありません。彼が、自分を神だと宣言したからです。それが、彼らが訴えていた「冒瀆」です。



エルサレム 神殿の丘の現在

ですから、ユダヤ人たちは言います。

「失礼ですが、メシアは人間であって、神ではありません。」

「だからもし、あなたが自分を神だというなら、明らかにあなたはメシアではありません。明らかに、あなたは私たちがずっと待っている方ではありません。」

その瞬間に、ヤコブの苦難の時が始まるのです。

そして、残念ながら——残念ですが、彼は非常に激しくユダヤ人に敵対し、実に恐ろしい時となります。ですから、全く平和はありません。

興味深いのは、信者として私たちは、主イエスが言われたことを常に覚えていなければなりません。彼は、これらの事を聞かれた時、「全てが素晴らしくなる！」とか「バラ色の人生を約束するよ！」とは、決して言われませんでした。

イエスご自身が言われたのです。

6 …戦争のことや、戦争のうわさを聞くでしょう…

7 民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり、…

(マタイ 24:6~7)

それから、ヨハネ 16 章 33 節にはこうあります。

33 わたしがこれらのことをあなたがたに話したのは、あなたがたがわたしにあって平安を持つためです。あなたがたは、世にあっては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです。

(ヨハネ 16:33)

イエスは言われます。

「もし、平安を見つけないなら、それは世にはない。国連にも、トランプにも、誰にも無い。」

しかも、中東に平和をもたらす者、あの男でさえ、偽メシアです。

3年半以上は、平和を維持出来ないのですから。

ということで、「中東に平和はあるのか？」

今は、絶対にありません。

だからといって、イスラエルが安全、安心、繁栄していないという意味ではありません。実際そうですから。私たちは非常に安全ですよ。物凄く安心、そして、物凄く繁栄しています。

しかし、平和はありません。

そして、平和のない時に、人々に『平和だ。平和だ。』と言っている偽預言者たちは、エゼキエルが告げている通り、神が裁かれます。

では、私たちはどこに平和を見つけられるでしょう。

それから、いつ平和が見つかるのでしょうか。

ヨハネ 14 章 27 節で、イエスはこう言っておられます。

27 わたしは、あなたがたに平安を残します。わたしは、あなたがたに私の平安を与えます。わたしがあなたがたに与えるのは、世が与えるのとは違います。あなたがたは心を騒がしてはなりません。恐れてはなりません。

(ヨハネ 14:27)

それから、ピリピ人への手紙 4 章 7 節にはこうあります。

7 そうすれば、人のすべての考えにまさる神の平安が、あなたがたの心の思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。

(ピリピ 4:7)

第二テサロニケ 3 章 16 節には、こうあります。

16 どうか、平和の主ご自身が、どんな場合にも、いつも、あなたがたに平和を与えてくださいますように。どうか、主があなたがたすべてと、ともにおられますように。

(第二テサロニケ 3:16)

世は、皆さんを欺きます。第一テサロニケ 5 章 3 節にあるように、

3 人々が「平和だ。安全だ」と言っているそのようなときに、突如として滅びが彼らに襲いかかります。ちょうど妊婦に産みの苦しみが臨むようなもので、(彼らは) それをのがれることは決してできません。

(第一テサロニケ 5:3)

皆さんが、現在持つことの出来る平和があります。もし、あなたが持っていないなら、それは平和の君、平和の主です。彼が与えてくださるのは、人のすべての理解を超える平和、世があなたに与えることのできない平和、世が理解することもできない平和です。

世は、皆さんを欺きます。偽預言者を送り込み、偽メシアを送り込みます。神は、預言者エゼキエルと、預言者エレミヤを通して、それを予告しておられます。彼は当時のイスラエルの人々に言われ、同時に、現在の私たち全員にも言っておられます。

ですから、私の祈りは、平和の君以外、他に平和の源はないということを私たち全員が理解することです。

平和の君が戻って来られたら、そして、彼の足がオリーブ山に降り立ったら、この地は千年間の平和を楽しみます。ところで、その千年間の平和でさえ、サタンが短い間、底知れぬ所から解き放たれると、終わってしまうのです。そしてサタンは出て行って、諸国の民を惑わし、聖徒たちの陣営と愛された都を取り囲みます。(書

記注：黙示録 20:7~9 参照)

このように、人の心はとても陰険で騙されやすく、非常に悪なのです。平和は、この世には見つけれられません。あなたが最終的に頼れるのは唯一、神の平安のみです。

聖書は、世には平安がなくても、あなたは平安を持つことが出来る、と告げています。なぜなら、イエスがこの世に打ち勝ったからです。

だから私は、とても励まされています。主について語り、神の御言葉を宣べ伝える事は、ただ人が神と素晴らしい関係を持つのみを見るだけでなく、さらに人々が、やっと平安を見つけるところを見られるのです。わたしの後ろに見えるこの都、エルサレム旧市街の壁がご覧いただけるでしょう。もしこの都が、2000年前にイエスを受け入れていれば。

41 エルサレムに近くなったころ。都を見られたイエスは、その都のために泣いて、

42 言われた。「おまえも、もし、この日のうちに、平和のことを知っていたのなら。…」

(ルカ 19:41~42)

わたしが、あなたの平和だ。わたしが、平和の君だ。だが、あなたは知らなかった。

エルサレムはイエスを拒絶し、エルサレムは彼の訪れを逃しました。

あなたも、あなたへの訪れを逃したいですか？

逃してはいけません。

エルサレムの良い点は、彼がまた戻って来られ、ここに御国を創設されます。その時、エルサレムの都が、ようやく中に「シャローム」の入った、“エル・シャライム” 平和の都となるのです。

しかし、イエスが戻って来られるまでは、言っておきますが、エルサレムのために必死で祈らなければなりません。なぜなら、平和はありませんから。

平和はあり得ない、平和があるはずがないのです。維持され、本物で、永続する平和は、あなたに平和を与える平和の主を、あなたが受け入れた時にのみ、あなたに訪れるものだからです。どんな場合にも。いつでも。

反キリストは、いつでもあなたに平安を与えることは出来ません。たった3年半の間だけ、それも限られた場所、限られた時、そして限られた形。それだけです。

彼は、全世界を欺きますが、それも3年半だけです。

イエスは、2000年以上前に、彼の弟子たちと、彼に従う者たちに平安をお与えになりました。ですから、私の祈りは、現在起こっている事の全てから、——言っておきますが、これからさらに多くの事、さらに多くの対立、さらに多くの衝突について語ることになるでしょう。それは起こります。もしあなたに、全ての理解を超える神の平安があれば、恐れることなく、パニックにならずに、落ち着いて、さらに微笑みながら、これらの事が語れます。なぜなら、私たちは自分がどこに行くのかを知っているからです。パウロは、彼の最大の祈りは、喜びをもって、競走を終わらせることだと言いました。私たちも、このような時代にあって、主の喜びを持たなければなりません。実際、このような時代だからこそ、なおさら必要です。

私は、物凄く感動しています。私は、自分が21世紀に生きて、こんな規模で聖書的な出来事が、実にたくさん起こるのを見ているなんて、信じられません。わたしの祖父母は、私が今見ているものを見たいと願っていました。それを今、私たちは見たのです。

私たちは、ロシア、イラン、トルコ、スーダンを見、エルサレムが我々の手に戻るのを見、ユダヤ人が故国に戻るのを見、そして地が癒されるのを見、言語が回復され、2000年の後に、人々が世界の四隅から戻って来るのを見ました。地球上のどの国にも、こんなことが起こるのは見たことがありません。預言者たちが預言し、約束したことで、今まで誰も見たことのない事を、今、私たちは見ているのです。私たちがその世代です。そして今年で70周年。誰にも分かりませんが、これが世代を表す数字かも知れません。私には、分かりません。ただ、もしそうなら、すぐに私たちはここを出て行きます。

私は預言者ではありません。

私はいつも「私は Non Profit Organization (非営利団体/非預言者) の者です」と言い、それがビホールド イスラエルです。

ただ、私に一つ言えるのは、私は預言者の言葉を信じています。だから私は、「預言アップデート」とは呼ばないようにしているのです。私は、預言はアップデート(更新)しませんから。しかし私は、預言者たちが言った事の重要性を信じています。聖書でイエスは、エマオの途上で弟子たちに言われました。

25 …「ああ、愚かな人たち。預言者たちの言ったすべてを信じない、心の鈍い人たち。」

(ルカ 24:25)

愚かな者、信じない心の鈍い人たちにしないでください。

預言者たちが語ったのですから、信じなければなりません。

ただ信じるだけで良いのです。

アブラハムは、彼の信仰によって義と認められました。

あなたがどれだけ安息日を守っても、

あなたがどれだけ食事規定を守っても、

あなたがどれだけ良い行いをしても、

自分を義とするには、決して足りません。

あなたの義は、信仰から直接来るのです。

そしてあなたの信仰は、私たちに与えられている約束に対する、あなたの理解と保証から直接来ます。私たち全員に、預言者を通して伝えられた約束です。

ですから、皆さん全員を励ましたいと思います。世界中で起こっている事から——言っておきますが、これからは週に一度か、さらに頻繁に語ることになるでしょう。

世界の出来事は、皆さんの目を引くためのものです。

主がそこにおられ、彼のすべき事をしておられる。

全ては、然るべき場所に収まって行っています。

だから、私たち神の民は、私たちの仕事をしなければなりません。城壁の見張り人となり、従事する。福音を

広めるのです。確かに今は、終わりの時です。

御言葉を伝え、人々に、平和の君だけが与えられる、あの平安を与えてください。

ですから、本気でエルサレムの平和を祈ろうと思うなら、イスラエルの人たちが、彼らのメシアを知るように祈らなければなりません。それが、エルサレムの真の平和です。平和イニシアチブのためとか、インナー宗教とか、エキュメニカル運動のようなものにお金を与えるのは、平和ではありません。

大切なのは、統一ではなく、教義です。

そして、その教義が大事なのです。

その教義とは、もしあなたがイエスを信じていないのなら、彼の道に従い、あなたの罪の性質を認め、悔い改めて、イエスをあなたの主、救い主として受け入れてください。

そして、闇から、まばゆいばかりの光の中へと導き出してくださった方の、大いなる事を伝えるのです。それが、あなたの仕事です。それが全てです。

ですから、皆さんを励まします。あなたの義務を果たしましょう。

「中東に平和はあるのか？」

今は？ありません。戦争の後？それは偽の平和です。

その後？大変な時代になります。

そして、平和の君が来られ、その時には平和があります。しかし、彼が来た時でさえ、あなたが平和を持つ唯一の方法は、彼を信じることだけです。彼をあなたの主、救い主として受け入れなければなりません。

では、私たち全員の上に、アロンの祝福を宣言しましょう。

皆さん、どうかインスタグラムで私たちをフォローしてください。

「beholdisrael」です。

フェイスブックでもどうか「いいね！」、フォローをしてください。

ユーチューブをどうかチャンネル登録しておいてください。

フェイスブックはそろそろ使えなくなると思います。

ですから、Behold Israel/ビホールド イスラエルのユーチューブチャンネルをご登録ください。ソーシャルメディアを一切しないという方は、ウェブサイト Behold Israel.org で、あなたのメールアドレスと登録して、毎週アップデートを受信してください。

では、アロンの祝福をお祈りしましょう。

	ヴェイシエメレハー		アドナイ		イエヴァーレフハー	
	וְיִשְׁמְרֶךָ		יְהוָה		יְבָרְכֶךָ	
	..(主が)あなたを守られますように		主が		あなたを祝福し	
	ヴィーフネッカー	エーレーハー	パーナーヴ	アドナイ	ヤーエール	
	וַיְהַנֶּנְךָ	אֵלֶיךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יָאֵר	
	..(主が)あなたを恵まれますように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	照らし	
シャーローム	レハー	ヴェヤーセーム	エーレーハー	パーナーヴ	アドナイ	イッサー
שְׁלוֹמְךָ	לְךָ	וַיִּשֶׂם	אֵלֶיךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יִשָּׂא
平安を	あなたに	(主が)賜るよう	あなたに(向けて)	御顔を	主が	上げて

(引用：牧師の書齋 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

- 24 主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
 25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
 26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記 6:24~26)

私たちの理解の全てを超えるその平安を、平和の君、平和の主が、どんな場合にもいつも与えてくださいますように。イエシュア、平和の君の御名によってお祈りします。アーメン。

アーメン！ I love you! God bless you!

引き続き、私の教えとアップデートに目を向けておいてください。

そして、元気を出してください。主は良いお方です。

エルサレムより、God bless you! そしてシャローム！さようなら。

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

【写真出典一覧】

逮捕された5人のISISリーダー：“5 top leaders captured in latest blow to Militant group” CBN News 2018. 5. 10

この件に関してのトランプ大統領のツイッター：Twitter より 2018. 5. 10

北朝鮮に拘留されていた3人のアメリカ人：‘God bless America’：Freed American prisoners thankful after being released from North Korea USA TODAY 2018. 5. 10

軍事パレードに出席するプーチン大統領とネタニヤフ首相：モスクワで恒例の軍事パレード＝対独戦勝記念で国威発揚 時事 AFP 2018. 5. 9

ペルシャ湾岸諸国の地図：旅行のとも Zen Tech

エルサレム 神殿の丘の現在：左) Google Earth 右) BeholdIsrael.org